

医のチカラ

八幡中央病院 ：副院長着任



八幡中央病院 副院長 細川 了平	
学位	京都大学医学博士
専門科目	循環器内科 日本循環器学会専門医 日本内科学会認定医 人間ドック検診専門医
資格	日本人間ドック学会指導医・認定医 日本心臓核医学会評議員 日本心臓リハビリテーション学会評議員 日本医師会認定健康スポーツ医 日本医師会認定産業医 日本心臓病学会特別正会員(FJCC) 日本体育協会公認スポーツドクター

4月1日付で、八幡中央病院副院長に着任いたしました 細川 了平 と申します。循環器内科が専門ですが、内科一般も担当いたします。末永く、よろしくお願いいたします。

1990年京都大学医学部を卒業し、大津赤十字病院で循環器の基礎を研修、京都大学大学院、その後大学病院のスタッフとして、臨床だけでなく研究も行っておりました。専門は、心臓核医学、心臓CT、MRIなどの画像診断と運動療法(心臓リハビリテーション)となります。その後、北野病院、田辺中央病院では臨床医、相馬病院では副院長、亀岡病院では院長として、臨床業務や病院管理業務にも従事しておりました。

当院では、火曜日と木曜日の外来を担当し、外来業務、入院業務、地域連携(病診連携、病病連携)を担当し、病棟、病床運営にも携わります。

緊急の受診、入院(転院)依頼等がございましたら、ご連絡いただければ幸いです。

八幡中央病院：新任医師着任

この度、7月より八幡中央病院の総合内科で勤務することになりました佐藤と申します。

これまでは感染症内科を専門としており、直近数年間は保健所で新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症対策に従事してまいりました。感染症には特定の臓器に限らず全身に関連するものも多いです。その経験を生かして総合内科として診療を行ってまいります。

地域の皆さまのお役に立てるよう丁寧な対応を心がけますので、お気軽にご相談下さい。どうぞよろしくお願いいたします。



八幡中央病院 総合内科 佐藤 秀憲	
学位	博士(医学)
専門科目	内科・感染症科 日本内科学会認定内科医
資格	日本内科学会総合内科専門医 日本感染症学会感染症専門医 日本エイズ学会認定医・指導医

八幡中央病院：看護部からのお知らせ

看護部理念 ～人を大切にし、ともに支えあう看護～

看護部長挨拶

2022年4月より看護部長に就任しました元生(もといき)です。

看護部理念に沿って医療現場に目を向け、現状の把握と多職種で協働し働きつつけられる職場風土の醸成に努めていきたいと思ひます。

看護部の目標を

1. 心理的安全性の高い職場を目指し Decent Work の実践
2. 地域包括システムにおける役割機能の拡大を推進する としました。



八幡中央病院 看護部長
認定看護管理者 元生 早苗



新人看護師 入職時研修
点滴ミキシング演習風景

これは、「職員が働きがいもち心身ともに落ち着いて質の高い責任を持った看護実践ができること」と「地域医療に積極的に役割を果たすこと」を目指しています。

当院では、3月下旬にCOVID-19病棟を編成し、軽症から中等症の患者さまの受け入れを始めました。また4月には新人も含めた新入職員を迎え、様々な新しい事へ最善を求めて Challenge しています。

地域の皆さまへ質の高い看護の提供ができるように、一人ひとりが主体的に自己研鑽し、看護力の向上を図り、変容する医療現場に柔軟に対応できる看護部であるように努めていきたいと思ひます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

八幡中央病院：新型コロナ患者さまへの対応

当院では、外来でも入院でも、地域の新型コロナ患者さまの検査・診断・治療・療養を行っています。私自身は、以前の勤務先であった学研都市病院でも新型コロナ病棟の立ち上げに関わってきました。以前と比べ重症化率は低下したものの、入院が必要となる患者さまは一定数おられます。ご高齢の患者さまも多く、介護度や看護の必要度が上がると、个人防护具の着用により、患者さまとの距離感がつかみにくくなり、直接ケアにあたる看護師にとってはもどかしくなることがあります。新たに感染症内科の先生も加わり、医師、多職種と協力して、地域の患者さまに寄り添ったケアが提供できるよう、病棟副師長として貢献できればと思います。



西3病棟
副師長 白濱 美樹

当病棟の感染対策について特に注意していることは……………

- ① 消毒・清掃の徹底 ② 適切なゾーニング ③ マニュアルの整備 ④ 職員の体調管理 です

八幡中央病院：皮膚排泄ケア認定看護師の紹介



皮膚排泄ケア認定看護師
兼 教育マネジャー
田野邊 悦子

皮膚排泄ケア認定看護師は、皮膚のトラブルに関してケアを提供するというのが大きな仕事になっています。その内容については、ストーマと言われるものや、人工肛門、失禁関連の皮膚障害といったものがあります。また、他には手術の後の傷などがあります。医師や担当看護師と協力をして、患者さまに不具合のない状態をつくっていくというのが私の仕事です。

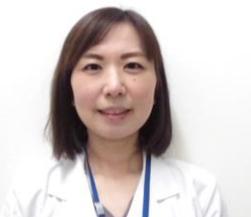
患者さまやご家族さまへの皮膚の状況やケアの方法などをご提案したり、また病院内の看護職の教育指導、相談を受けています。在宅の患者さま、各施設との連携を図りながら、そういったケアを継続的に実施できるような状態をつくっていきたいと考えています。

学研都市病院：新任医師着任

この度、学研都市病院で勤務をすることになりました仲野です。

専門は循環器内科で、これまでは虚血性心疾患や心不全などの診療に従事しておりました。地域医療に少しでも貢献できるよう頑張りたいと思います。

火曜日、木曜日に外来をしておりますので、胸痛や動悸、息切れなど何でもご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。



学研都市病院 循環器内科 仲野 有希子

学位	京大医学博士
専門科目	循環器(虚血性心疾患・心不全) 日本循環器学会専門医
資格	日本心血管インターベンション治療学会認定医 日本内科学会認定医 総合内科専門医

学研都市病院：外来(看護部)からのお知らせ



内視鏡のエキスパート！ 消化器内視鏡技師とは…

学研都市病院の外来看護師は、一般外来診察や救急外来診療に従事するほかに、内視鏡チーム、心臓カテーテルチームにそれぞれ所属しており、他職種との連携を大切にお互いに切磋琢磨しながら専門性の高いチーム医療を目指しています。

当院の内視鏡チームには消化器内視鏡技師の認定を受けた臨床工学技師1名と看護師が2名所属しています。消化器内視鏡技師とは、一般社団法人消化器内視鏡学会において、医学基礎知識と内視鏡の専門知識と技術を備え、かつ積極的に消化器内視鏡業務に従事する消化器内視鏡技師を養成し学識技能の優秀なものを資格認定し、消化器内視鏡診療および研究の円滑をはかることを目的とされた認定資格です。資格取得には内視鏡室での2年以上の実務経験や学会が定める研究会や講習会の参加、資格認定試験を受験する必要があります。

今後も内視鏡技師を中心に新たな内視鏡エキスパートの人材育成に取り組んでいきます！

学研都市病院：栄養科からのお知らせ

臨床業務に携わる管理栄養士全員が、 京都府糖尿病療養指導士の資格を取得しました！

当院の管理栄養士は、食生活や食習慣を改善することで病気が改善し、そして生活の楽しみも持ち続けられるように入院や外来での栄養指導、健康診断での保健指導を心掛けております。対象となる疾患の中で、大きな割合を占める糖尿病や糖尿病予備軍の治療には、食事療法が欠かせません。

そこで、よりきめ細やかで継続的な関わりができるよう、糖尿病療養指導士の資格を取得しました。



是非、当院の管理栄養士と一緒に、生活習慣改善にトライしましょう！！

京都府糖尿病療養指導士認定委員会

京都八幡病院：リハビリテーション科の取り組み

当院はご高齢の患者さまが多く入院されています。リハビリでは、関節の可動域や筋力の維持を図り、痛みの軽減や拘縮・褥瘡等の予防を目指しますが、大切なのは身体の健康だけではなく「心の健康」もあります。心が健康な状態とは、生活に充足感を持ち、いきいきとした気持ちで過ごせる状態であり、そのためには、自分を大切に思う気持ちや他者から認められていると感じることがとても重要となります。気持ちが落ち込み、心が不健康な状態になると、活動意欲や食欲の低下、睡眠障害等をもたらす、身体の不健康にも繋がります。そのため、身体だけでなく心の健康にもしっかりと目を向け、お一人お一人と向き合うよう意識しています。そういった中で、患者さまの笑顔が見られ、「あれがしたい」「立てるように頑張る」などと前向きな発言が聞けたとき、私たち自身もとても嬉しく感じます。

人への思いやりはどんな場面でも必要ですが、日々リハビリを行う中で、痛みや苦しさ、不安などを抱えておられる方には特に、温かな声かけや細やかな心配りが必要だと感じます。患者さまが感じておられる痛みや苦しみを理解し、そこからくる不安を少しでも取り除くよう努めること、その方にとっての幸せや喜びは何かを考え、たとえ入院中であってもその方らしくいられるようサポートすることが、患者さまに携わる私たち病院職員全ての使命だと考えています。患者さまの気持ちを最大限想像し、これまでの生き方や今の心の状態に寄り添った関わりができるよう、今後も病院一丸となって努めてまいります。



公式 SNS 開設しました！

病院や介護施設の取り組みや思いを積極的に発信いたします。



地域包括支援センター梨の里のご紹介

高齢者の方が住み慣れた地域で生活を続けるための相談窓口です。お気軽にご相談ください♪

業務内容

- ① 介護予防マネジメント
- ② 総合相談・地域ネットワーク構築
- ③ 権利擁護業務(成年後見制度・虐待対応)
- ④ ケアマネージャー支援
- ⑤ 認知症総合支援



地域包括支援センターの専門家



保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員が相談にあたります。

介護老人保健施設 石清水



介護老人保健施設の”理学療法士”の役割

現在、介護老人保健施設 石清水では、6人のリハビリスタッフが在籍しています。介護老人保健施設でのリハビリの目標は、利用者さまの自宅復帰や身体機能の維持を目標にします。利用者さまの状態に応じた日常生活動作の維持が重要です。また、病院でのリハビリとは異なり、個別のリハビリだけでなく、介護職、看護職と連携し、日常生活の中でのリハビリを実施しています。



介護老人保健施設 とちのき

居宅介護支援事業所の紹介

利用者さま、家族さまが安心して生活できるように、介護・医療・地域資源等、適切なサービスが受けられるように支援させていただきます。

【事業内容】

- ・要介護認定の相談・要介護認定申請の代行手続き。
- ・介護・福祉に関する相談・援助。
- ・居宅サービス計画の作成
- ・保険・医療・福祉・介護サービス機関等との連携や連絡調整。

【営業時間】

・月曜日～土曜日 8:30～17:30

【連絡先】

・電話番号:0774-98-2600
主任介護支援専門員 榎谷聡美

【事業範囲】

- ・精華町
- ・木津川市

介護や生活の事でお困りのことがありましたら、ぜひご相談ください。

サービス付き高齢者向け住宅 テレザートさくら

高齢者にとって社会とのつながりはとても重要です。テレザートさくらでは外出制限・面会制限を行っておりません。医聖会の医療連携のもと、施設内での感染対策を徹底することで、クラスターが発生しない環境作りに努めております。入居者さまがフレイルに陥らないよう、環境の面からもサポートいたします。

フレイルって何？

健康と要介護の間の状態で、「加齢によって心身が老い衰え、社会とのつながりが減少した状態」のことを指します。コロナ禍では人との繋がりが希薄になることで、社会性の衰えが顕著となり、フレイルに陥る高齢者は多くなっています。

身体面

サルコペニア等

フレイルを構成する3つの要素

精神 心理面 社会的側面
うつ・認知症 引きこもり等



お問合せ：テレザートさくら ☎ 075-201-0160



医聖会グループ

医療法人社団 医聖会 本部 〒614-8071 京都府八幡市八幡五反田3-9-1

医聖会

八幡中央病院

介護老人保健施設

梨の里

職員用託児所

たんぽぽ

サービス付き高齢者向け住宅

テレザートさくら

京都八幡病院

介護老人保健施設

石清水

精華町病児病後児保育室

ひまわり

特別養護老人ホーム

ゆりのき

学研都市病院

介護老人保健施設

とちのき

離れてお座りください

手指の消毒にご協力ください

換気を促しています

消毒を促しています

マスク着用を促しています

季刊誌『医のチカラ』に関するお問合せは、本部 総務部 広報担当 ☎075-971-5565

医聖会理念

患者さまと病院職員は、心の通い合う医療を通じて、お互いの信頼のもとで、ともに手をたずさえて病気の克服に努めます。

医聖会グループでは職員を募集しています。お問合せ・資料請求は、医聖会本部 人事部 採用担当まで ☎ 075-971-5565